

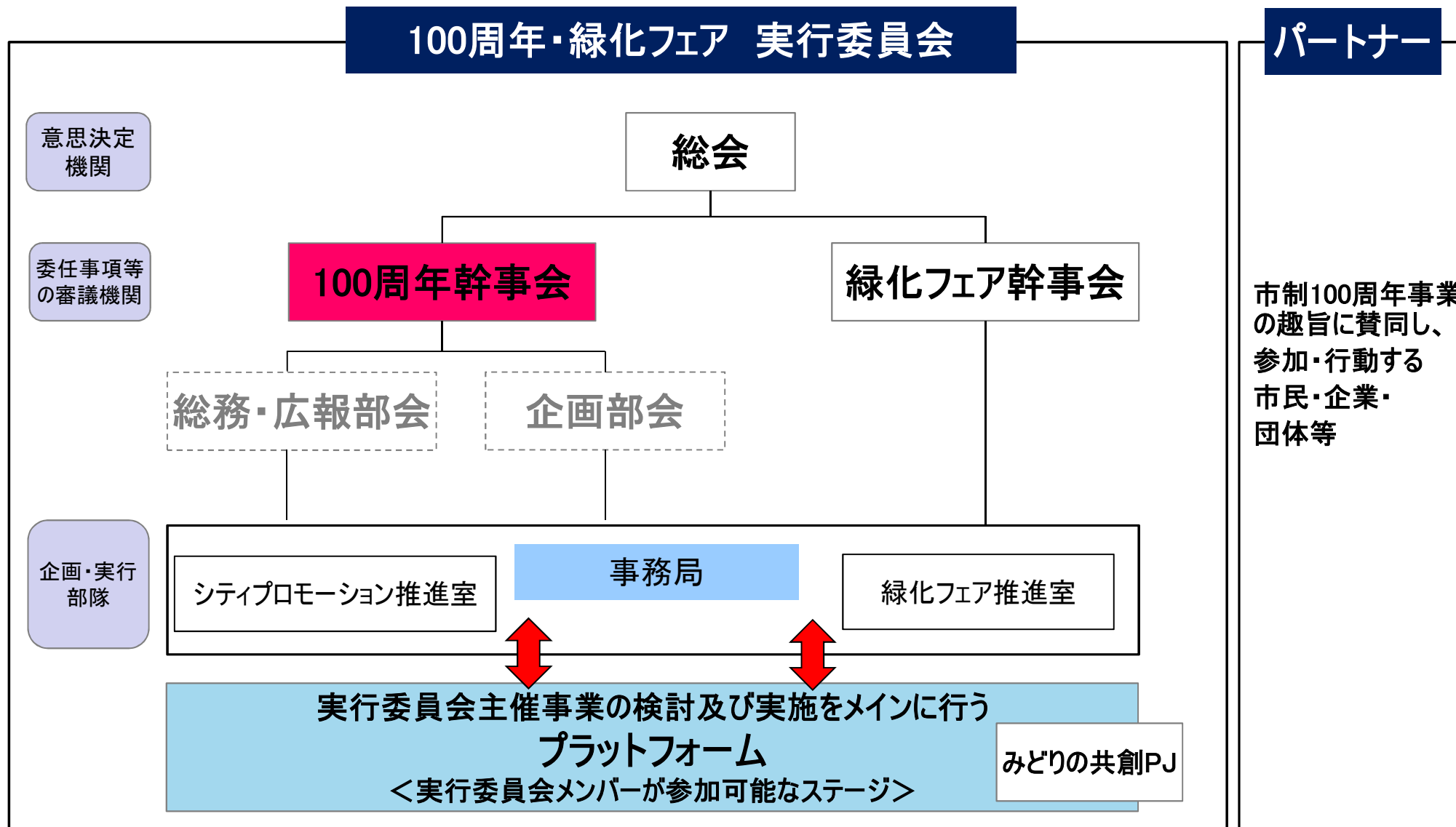
パートナー制度の骨子(案)

川崎市市制100周年記念事業・
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th



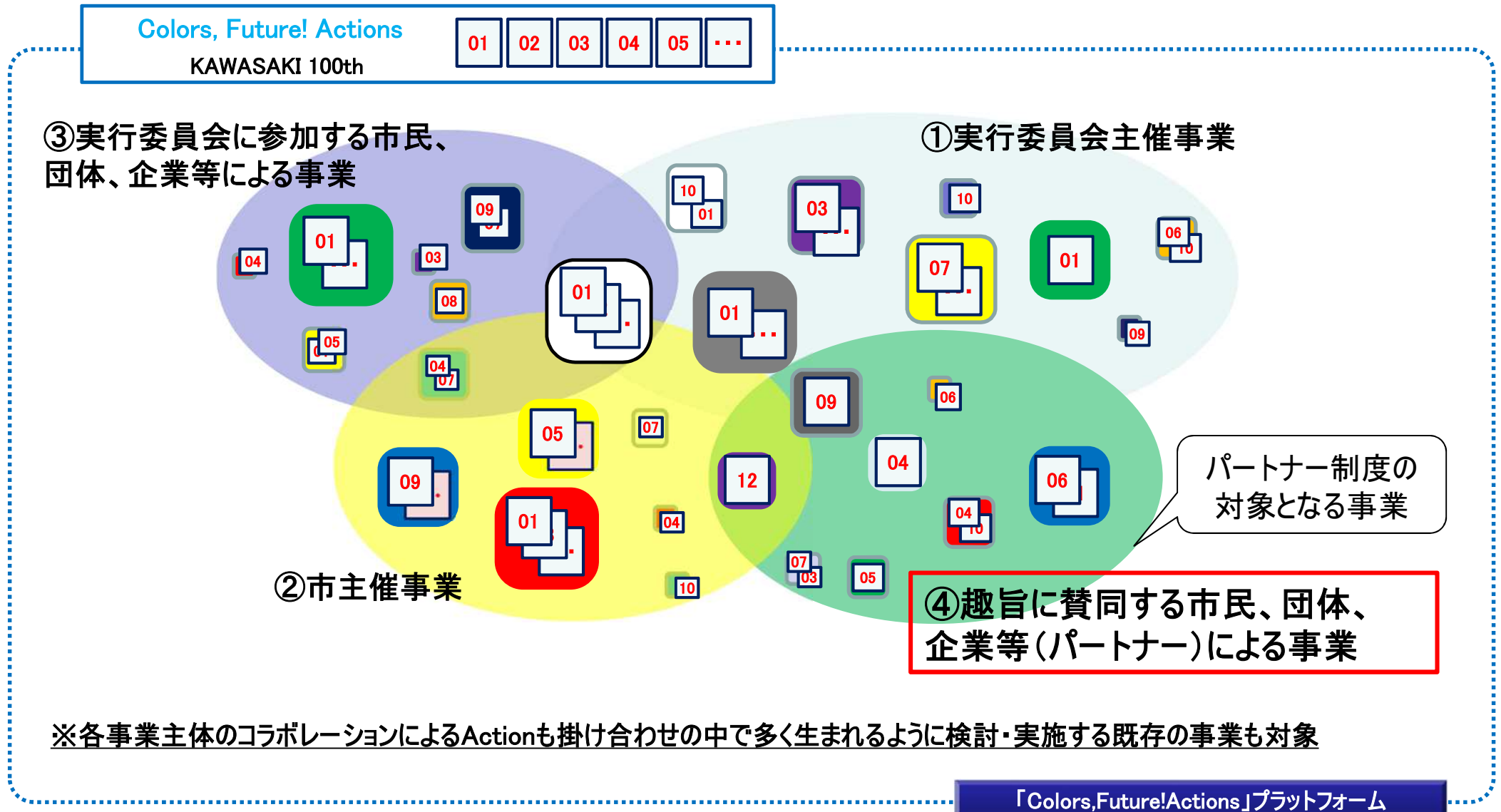
実行委員会の推進体制



パートナー制度の対象事業



○ 記念事業の全体イメージ



制度概要



○ 制度概念(コンセプト)

記念事業プラットフォーム「Colors,Future!Actions」において、新たな活動や価値から川崎の文化や未来をつくりだす多彩なActionを実行する市民・団体・企業等をパートナーと呼び、オール川崎市で一緒に「あたらしい川崎」をつくりだす。

〔機能・役割〕

「記念事業に関わって、川崎を好きになろう」のコンセプトを実現するために、実行委員会に参画していない市民・団体・企業等の大・小ささまざまな取組について、ひとり一人が自分事としてActionにつなげてもらうための装置としての機能と広く巻き込む仕掛けとしての役割を担う。

- 100周年を知ってもらい、記念事業に参加するためのツール(機運醸成・きっかけ)
- 一緒にActionに取組む証明としてのツール(目印)

〔対象者〕

15のActionラベルに紐づく取組みを行う、実行委員会に参画していない個人・企業・団体

〔適用除外〕

- 制度の趣旨とは合わない取組(例:100周年の要素がない、公序良俗に反する など)
- 他の制度で対応している内容・取組(例:広報・イベントボランティアなどの協力(協賛金制度の対象))



【最重要ミッション: 1つでも多くの取組をActionにつなげる】

CFAプラットフォーム(フェス&カンファレンス)や広報戦略を効果的に展開し、多くの市民・企業・団体の認知獲得・機運醸成を仕掛けていくことで、市内全域でパートナー制度の促進を図る。

制度の検討案



<制度案> 「みんなでパートナー」

制度の対象となる事業・取組は、次の①または②に該当すること。

- ① 既存事業をアクションに進化させて実施 …… 普段の取組 + 100周年記念の要素^(※)
- ② 100周年を契機に新たな取組を実施 …… 次の100年につながる取組の実施

(※要素: 100周年記念にアレンジ、他の企業・団体等と共創・コラボする など)

[具体的な制度内容]

- (1) 手続方法 …… パートナー事業の登録届を実行委員会に提出(ロゴ・ラベル使用届を兼ねる)
- (2) 内容審査 …… 実行委員会が取組内容の確認を行う(問題がなければロゴ・ラベルを利用を開始できる)
- (3) 使用料 …… 無償 但し、2次利用は禁止
- (4) 実行委員会の関わり方
 - 実行委員会HPにパートナー事業の情報を掲載して、パートナー同士の関わり・共創を支援する(創出支援)
 - HPやニュースレター等のオウンドメディアで取組事例を紹介する(機運醸成)
 - 100周年記録集に主なパートナー事業の取組を掲載する(記録の保存)

<メリット>

- 届出制とすることで、パートナー事業の数を把握することができる
- 100周年記念の趣旨と合わないものは、除外することができる
- 取材の申込みができる(逆に、取材希望を受け付けることも可能)
- パートナー同士の共創・コラボ企画の検討・支援ができる
- ロゴ・ラベルのブランドコントロールが可能

<デメリット>

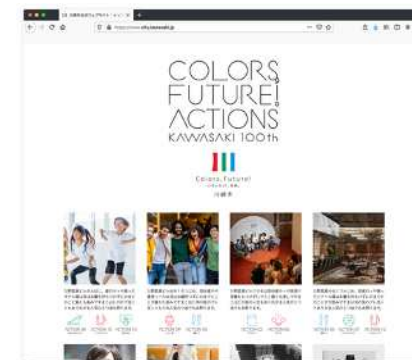
- 実行委員会への登録手続があるので、手間が掛かる
- 届出内容の確認に時間を要する(すぐにロゴ・ラベルを使用できない)

事業展開(普及啓発)



広報戦略 = 事業戦略

単なる周年祝事ではない、先例を見ない事業スキーム(プラットフォーム)と、そこから生まれる斬新なプロジェクトの数々をニュースコンテンツとして、川崎の多様で多彩な企業・団体・市民による未来づくりを発信する



1. 実行委員会で主催事業を企画・立案

↳ 2. 様々な広報媒体で取組事例を紹介(機運醸成)

↳ 3. パートナー制度の利用登録を促進(④事業の増加)

↳ **【最重要】1つでも多くの取組をActionにつなげる**

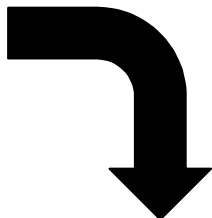
15のラベル(Actionsテーマ)の使い方



COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



適するラベルを選択して使用
※ラベルの個数や組み合わせは自由



●事業証明としての使用イメージ【例：基本形＋対応するラベル】

